

講師：西川盛雄氏（熊本大学名誉教授）

演題：『アイランド民話と浦島太郎』

期日：令和4年6月25日（土）午後二時～三時半

会場：お菓子の香梅帯山店ドウ・アート・スペース（熊本市中央区帯山7-6-84（国体道路沿い））

参加費：無料

## 年間テーマ『アイランドの魅力、日本の魅力』

アイランド人の人懐っこさはそのおもてなしの心において日本人のそれに近い。アイランド人の音楽は清澄な哀愁とともに日本人の感性に近い。アイランド人のハイクロスの円形は日本人の太陽を拝み敬する精神に近い。民族を言えばアイランドの人々はケルト民族である。そしてこのケルト民族はかつてヨーロッパ大陸を席卷していた民族であった。アイランド人を父とし、ギリシャ人を母として熊本にかけて住み世界に紹介してくれた文豪ラファディオ・ハーン（小泉八雲）の存在は決して忘れられてはならないであろう。

アイランドの国土は確かに小さいが、文化・芸術を愛する心は大きい。山川草木、野の花を愛する精神に溢れている。その風土から生み出されてくる詩や音楽、民話や説話の語り、激しくも美しいリバーダンス、そして道端の妖精たちの演じるドラマは魅力に溢れている。

熊本アイランド協会は、前年度はコロナ禍の影響で十分な活動ができませんでした。しかしひとつ、今年度はこの市民講座を通してアイランドの豊かな世界（文化、歴史、風土）を分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。皆様ぜひお越し下さい。

### 講師からひとこと

「アイランド民話と浦島太郎」

概要：

神話や民話は人々の伝統的な深層心理を反映している。民話を比較すると類似したものによく出くわす。今回はアイランドのケルト民話にみるオシオン伝説とL・ハーングがこよなく愛した日本の浦島伝説の比較を行ってみよう。

オシオンはケルト民族の英雄であった。彼が仲間との狩りのさ中、白馬に乗った常世の国の美しい王女（ニアヴ）が現われ、オシオンに求愛する。彼は彼女に魅せられ、一緒に海の彼方の彼女の国に行く。そして300年。オシオンは望郷の念に駆られ、彼女を振り切って帰郷するが、そこで約束を破ったがために・・・。浦島太郎は竜宮城で乙姫と幸せに暮らしていたが望郷の念に駆られ、彼女を振り切って故郷に帰るが、そこで約束を破ったがために・・・。

（西川盛雄）

次回市民講座は7月23日（土）本間康夫（崇城大学名誉教授）他  
テーマ：『アイランド音楽の魅力』を開催します。

※参加はマスク着用をお願いします。受付で手・指の消毒と検温等にご協力ください。

お問い合わせは熊本アイランド協会事務局へ

Tel.096-366-5151 Fax.096-372-1857 / Email:office@kumamoto-ireland.org